

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター たびだち学園		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 21日		～ 令和6年 11月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26人 (家庭数 23)	(回答者数) 17人
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 21日		～ 令和6年 10月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数) 8人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 7日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	公園等での園外活動の時間を多く取り、社会との協調性とお友達とのコミュニケーション能力が身につけられるように心がけて支援をしています。そのような支援を受ける子ども達も安心感を感じながら、楽しく通所しています。 (児童・保護者の満足度が高い)	日々変化する子ども達を暖かく見守り支援することにより、安心感とともに楽しく過ごす中で適切な支援ができるように、職員間また保護者の方々との連絡・連携に努めています。	より一層職員間や保護者の方々、学校との連絡・連携を強化して、支援の強化へと繋げてまいります。
2			
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童の活動時の様子など、詳細な情報の共有。	保護者の方へ適切な情報の発信をおこなっていく必要がある。	連絡帳への記載や送迎時等の機会を利用して保護者の方へ個別で伝えているが、SNS等の情報伝達ツールを活用して情報の発信について検討していく。
2			
3			